報道関係各位

2026 年 11 月 13 日

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン
フードバンクひのくに
NPO 法人 POPOLO

**熊本県南地域の食支援体制強化に向け、八代市に「県南食支援拠点」を開設**
**ジャパン・プラットフォーム、セカンドハーベスト・ジャパン、フードバンクひのくに、POPOLO が連携**

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム（以下、JPF）、認定 NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパン（以下、2HJ）、フードバンクひのくに、NPO 法人 POPOLO（以下、POPOLO）は、2026 年 11 月 13 日、熊本県八代市に「令和 8 年熊本地震 県南食支援拠点」を開設しました。本施設は、JPF の休眠預金活用事業の一環として設置されたものです。4 団体が連携し、熊本県南地域における災害時の食支援体制の強化を目指します。




令和 8 年熊本地震 県南食支援拠点の外観・内観

**■ 食品を「届けたい」と「支援に活用したい」をつなぐ**

今回開設する「令和 8 年熊本地震 県南食支援拠点」は、熊本県南地域における災害時の食支援を支える、食品の受け入れ・保管・仕分け・供給を担う物流拠点です。災害時の食支援では、食品を提供したい企業・団体等と、食品を必要とする支援活動を行う団体や被災者との間をつなぐ仕組みが不可欠です。一方で、食品を集約・保管する場所の確保、食品の種類や数量に応じた仕分け、地域のニーズに応じたタイムリーな供給など、食品を必要な人々に届けるまでには、物流面でさまざまな課題があります。

本拠点は、こうした課題に対応するため、企業・団体・個人から提供される食品等を受け入れ、適切に保管・管理するとともに、被災地で活動する支援団体や施設、社会福祉協議会、行政等に供給する機能を担います。

拠点を被災地域に近い八代市に設けることで、支援団体や行政等が食品を引き取りやすくなり、必要な食品をより迅速に届けることが期待されます。また、行政・社会福祉協議会・地域の支援団体等と連携し、在宅避難などで支援につながりにくい被災者のニーズを把握するとともに、自ら食品を受け取りに来ることが難しい方にも支援が届くよう取り組みます。

**■ 4 団体の連携による食支援体制の構築**

本事業は、各団体が持つ経験、専門性、ネットワークを生かし、熊本県南地域の食支援を支える体制を構築し、食品の調達から保管・管理、地域の支援活動への供給、被災した個人・世帯への支援までを連携して行います。

**【JPF】**休眠預金活用事業を通じた資金支援および事業運営のサポートを実施します。

**【2HJ】**企業等から寄贈を受けた食品の現地への移送・マッチングを行うとともに、被災地で活動する支援団体への食支援を担当します。

**【POPOLO】**被災した個人・世帯への食支援を担当し、行政や社会福祉協議会との連携、相談支援等を行います。

**【フードバンクひのくに】**2HJ および POPOLO から委託を受け、現地での食支援を実施します。また、倉庫を借り受け、食品の受け入れ・保管・仕分けなど、日常的な施設の運営・管理を担います。

**■ 拠点概要**

名称：令和 8 年熊本地震 県南食支援拠点
所在地：熊本県八代市上片町 1531
開設日：2026 年 11 月 13 日
建物面積：約 400 ㎡
保管能力：約 40 パレット
主な設備：常温保管スペース、冷蔵庫（405L）、冷凍庫（200L）、フォークリフト
立地・アクセス：高速道路のインターチェンジから車で約 5 分、国道 3 号線にも近接。大型トラックの進入・荷下ろしが可能です。

**■ 報道関係者お問い合わせ先**

【4 団体共同問合わせ窓口】
**フードバンクひのくに（NPO 法人ひのくにスマイルプロジェクト）**担当：茶木谷
電話番号：080-3601-4464　E-mail：kumamoto.food@hinopro.jp